

保険証一枚ではり・きゅう・マッサージを受けたい

医療を考える会 会報

発行元:NPO 法人 医療を考える会

住所 渋谷区代々木 2-39-7 メゾン代々木 201 号

TEL 03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メール iryo-kangaeru@waltz.ocn.ne.jp

ホームページ <http://npo-iryo.org/>



第 11 回定期総会にご参加を!

日にち: **平成 27 年 (2015 年) 11 月 29 日 (日)**

時間: **午後 1:30~午後 3:00**

(**ヨガ講習会 3:10~4:30**)

会場: **中野区 産業振興センター 和室**

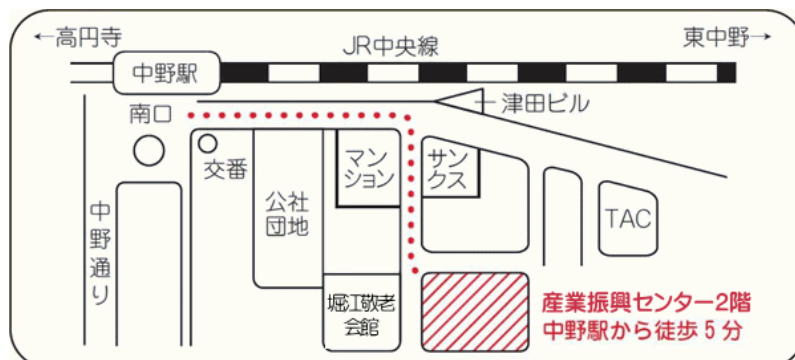
「総会」は正会員のみ議決権がありますが、賛助会員でも傍聴できます。また、「ヨガの講習会」にもふるってご参加くださいますよう、お願いいたします。

正会員は必ず出欠の連絡をお願いします。欠席の場合、「委任状」をご提出ください。FAXでも受け付けます。

会場案内

*会場は「一般社団法人鍼灸マッサージ師会 中野支部」で確保していますのでご注意ください

中野区産業振興センター 〒164-0001 中野区中野 2-13-14 ☎03-3380-6941



「難病疾患団体協議会」への要請行動

田中 榮子

健保改善署名のお願いにいろいろな団体をまわっています。8月17日は「難病疾患団体協議会」へうかがいました。

「協議会」からは、事務局長・水谷幸司氏が話を聞いて下さいました。私達参加者は、高橋養藏さん、木幡久美子さん、田中榮子でした。

この「難病疾患団体協議会」に入っている人は28万人で、難病団体としては、85団体が参加しているとのことでした。

高橋さんから、鍼灸・マッサージが、健康保険上まともにも扱われていない実情を説明しました。いただいた資料を拝見すると、各種の難病名が沢山のっています。筋無力症友の会、ベーチェット病友の会…等々。難病を抱えている皆さんは、病気の治療のみならず、毎日の生活を順調に過ごすため、諸困難をかかえている、と思われまます。水谷さんはご健康で、東洋医療にかかったことは無いとのことでしたが、私達の話に熱心に聞いて下さいました。



東洋医療を受けることで、難病本体はすぐ癒らなくとも、全身の血流を良くしたり、痛み、違和感、筋のこわばり等を軽くしたり、その人なりの生活の応援も出来ることを説明しますと、よく理解して下さい、署名集めに協力していただけることになりました。

木幡さんは、患者の立場から、鍼灸マッサージ治療が健康維持にいかにも必要であったか、を話されました。又、私達も、難病の方々のために出来ることがあったら協力したい、と伝えました。

この「協議会」は、国の社会保障政策の実態を、よく把握しておられ、政府が強引に決めた「患者申し出療養」制度、大病院への紹介状なしの初診料、再診料の引き上げ等に関して、撤回へもって行くよう、行動も起こされています。

「鍼灸マッサージを、健康保険で安心して受けたい」・・・この願いは、長年の国の差別政策があり、実現には少し年月がかかることでしょう。が、道理は国民私達の側にあります。あせらず進めてまいりましょう。



「安全保障法」強行採決について、子どもたちの未来を考える

利根川 美代

子どもたちの未来に 真っ赤な空と黒い雨はいらない！！

憲法の根幹を揺るがす「戦争法」が、国民大多数の民意を無視し、十分な審議もなされぬまま、議会の多数の力で押し通されてしまいました。これは単に憲法9条をないがしろにただけでなく、民主主義を踏みにじった暴挙と言わざるを得ません。

また、戦前と同じような、国民は本当のことは何も知らされず、ものも言えない世の中になるのではないかと恐ろしくなります。

私は6歳の時、東京大空襲で家を焼かれ、命からがら逃げ延びた一人です。小学校1年生でしたが、戦争のさなかのあの頃学校で何を勉強したのかも覚えていません。防空壕に避難したという記憶も定かではありませんが、毎日、着の身着のまま、ランドセルと防空頭巾を枕元に置いて寝ていたこと。そして3月10日の夜の記憶だけは鮮明に残っています。真夜中なのに、昼間と見紛うばかりの明るさと、真っ赤に燃える空、火の粉の雨の降る中を、とにかく火の手のこないところに逃げ延びはしたものの、「家が丸焼けになって、帰るところが無くなってしまった」というあの時の心細さ、悲しさはいまだに鮮明です。

たった2時間半ほどの空爆で、10万人余の人々（ほとんどが非戦闘員の女・子ども・老人）を死に追いやり、100万の家々が焼失しました。東京の4分の1が焦土と化したのです。その後も各地に空襲があり、とどめをさすように、8月6日、9日の広島・長崎の原爆投下により、20万余の人々が無残な死を遂げ、生き残った方々も戦後70年たった今もお苦しみを背負わされているという現実。

何よりも、他国を侵略し、非戦闘員を殺戮し、奪い、犯し、辱めた加害者としての日本。戦争がもたらす無残、悲惨を思うとき、二度とふたたび起こしてはいけないと、国民一人一人が強い決意で、平和を守りとおしていくことでしか、世界の人々への謝罪と、亡くなられた方々への鎮魂、本当の意味での戦争終結はないと思うのです。

敗戦という形で、とりあえず戦争はおわり、平和憲法のもと70年、他国への侵略はなくなり、曲がりなりにも平和が守られてきたわけですが、ここにきて、又「戦争ができる国」に変えてしまうような法律を許してしまったことは、本当に残念です。

すでに「秘密保護法」という戦前の「治安維持法」に匹敵する悪法があり、今回の平和・安全の名を借りた「戦争法」が、そしてかつての天皇制に代わる？「国民総背番号制」（背番号で国民を管理する制度）がすでに施行の段階に入っています。これらは国民に向けられた“3本の矢”ではないかと思ってしまうのは、私の考えすぎでしょうか。

放たれた“矢”は払い落とすしかありません。払い落とすのに、武器は必要ない。

真実を見抜く“眼”と、意思を伝える“勇氣”があればよい。

とにかく、今、私たち国民一人一人が、このままでよいのか？子どもたちの未来にあのような悲劇が再び降りかかってもよいのか？を、自分の頭で真剣に考え、意思を表明する時だと思います。未来に禍根を残さないために！！

10年間の活動を振り返って



田中 榮子

「鍼灸・マッサージ治療を希望する患者さんが、健康保険で安心して受けられるように」この願いを少しでも実現にもっていくには、患者さんと施術者が理解し合い力を合わせていくことが必要だ、と『鍼灸マッサージ師会』の有志は、NPOの会の準備を重ねてきました。

そして2005年8月22日、『NPO法人 医療を考える会』の設立総会が行われました。活動の方針・計画及び実施については、患者国民にとって何が大切か、国の現状はどうか等、会議を繰り返して行ってきました。

2006年6月25日、発足の集い・講演会は、鉄砲州診療所の沖山明彦先生による「西洋医学と東洋医学の実践から」であり、この道のさきがけとして、患者の立場に立った東西両医学の長年の実践をお話しいただき、私達は“ヨシ、これからこの会を盛り上げていくんだ”と、やる気満々となりました。

それから、患者さんとも楽しくためになる講演会・体験交流会・レクリエーション等を『一般社団法人 鍼灸マッサージ師会』とも協力して、沢山行ってきました。そして、東洋医療・鍼灸マッサージへの偏見・差別を乗り越え、広く理解してもらえるよう、国や自治体、諸団体への要請行動を10数回行いました。

2013年7月の井上英夫先生の講演は、国民・患者が、本人の受けたい治療を自由に受けられるよう、基本的人権を持つ国の主人公として、当たり前のことを実現にもっていかれるよう、患者が立ち上がることの大切さをお話しいただき、よく胸におちました。

同年同月、大阪にて、100万人署名『国民の会』が発足、ここまでくるのに、患者さん方が何年か準備をしていたようです。私達の『会』も、理事会や会員の意見のもと、この署名運動を広めようと、各種団体をまわり、今日まで6か所行い、次への準備もしています。

この『NPO』発足から10年、私達は今までに数千人の人に、直接・間接的に訴え、働きかけてきました。が、日本全体から見たら、運動はまだとぼ口の感がします。これからも、当たり前の道理が通るよう、展望をもっていきましょう。

署名活動

91才のHさんが外国に暮らす娘さんにも声をかけ集めて送ってくださいました10筆。H.M.さんは施術者として看護ステーションの看護師さん、ヘルパーさんや、お医者さんにもお願いし患者さんやご家族からもご協力の68筆が届きました。Y.M.さんもがんばって集めて送ってくれています。又引き続き送るとの電話をいただき期待しています。最近入会されたAさん42筆、Tさんが30筆、等々、皆様の熱意が届いています。年内に1万筆突破にむけ頑張りましょう！

* 11月5日(木) 東京土建一般労働組合へ訪問 (13:30~)

集合：JR大久保駅(総武線)北口改札 13:10

訪問先住所：新宿区北新宿1-8-16 けんせつプラザ東京(徒歩3分)

* 11月9日(月) 東京自治体労働組合総連合(東京自治労連)へ訪問 (10:30~)

集合：JR大塚駅南口改札 10:10

訪問先住所：豊島区大塚2-33-10 東京労働会館4F(徒歩5分)

* 11月23日(月・祝) 稲田公園・野外パーティーに参加 (10:00~15:00)

開催場所：川崎市多摩区菅稲田堤二丁目9

(JR南武線 稲田堤駅下車 多摩川方面に徒歩10分)

模擬店横町、大バザー、人形劇、ミニ動物園、生活相談コーナーなどで賑わうイベントです。

NPO法人医療を考える会としては今年で3回目の参加で、“マッサージ体験コーナー”と署名活動を併せて行います。

**ご都合のつく方は事務局に連絡をお願いします。
参加者には地図などを後日送らせていただきます。**

平成27年9月末現在 **9512筆** (当会に寄せられた署名の到達点)

今後の予定



* 11/15(日) 理事会 10:30~ 事務所にて

*11/19（木） 国民の会定例会 大阪・川端鍼灸院にて